同窓会だより 平成26年度第19号

北九州マラソン 2015 ボランティアスタッフ

<2月8日(日) 小雨のち小雪・寒風>

昨年の市制50周年記念事業での北九州マラソンが大好評だったことを受けて、2回目となる「北九州マラソン2015」は、ランナー1万人の募集に1万3000人以上の申し込みという超人気ぶりでした。

昨年の我ら夢追塾同窓会のボランティアの実績は市から非常に高い評価を受けていて、私達への期待は大変大きいものでした。その期待に応えるべく「夢追塾同窓会マラソンボランティア」は80人の有志で結成され、3班に分かれて各リーダーの下で、小雪の舞う強風の中で寒さにも負けずに元気に整然と活動しました。

「我々もまだまだ肉体年齢は若いぞ!」ランナーを始め、その家族や応援の人々、沢山のギャラリー、運営スタッフ、ボランティアの皆さん、どれくらいの人達が居たのでしょう?皆さん本当に元気で、楽しそうで、幸せそうで、そんな人たちは皆素敵な良い市民、国民に見えました。「日本もまだまだ捨てたものではないね。」ボランティアを終えて、爽快な疲労感と充実感がしみじみと感じられました。

ボランティアに参加した有志の皆さん、「本当にお疲れ様でした。」

夢追塾同窓会会長 香月 英彦 北九州マラソンボランティア実行委員長 田代 旦治



20km 地点付近のランナーの列



フィニッシュゲート

1月15日(木)に市庁舎にてマラソンボランティア事務局からの説明を、香月会長を始め実行委員会のメンバー全員で受け、それを受けて1月26日(月)、27日(火)と2日間に分けて、ボランティア参加者全員への説明会とマニュアル、帽子ジャンパーの配布を行いました。

皆さんそれらを手に取って、「さあ頑張るぞ」と高まるボルテージ! 当日まで風邪などひかない様に体調管理しましょう!



スタートブロックは6期生17名、9期生2名の19名での活動でしたが、市役所B1駐車場の男子更衣室、本庁舎1・3階の女子更衣室の担当で、ランナーの皆さんの着替えが円滑に出来るようにサポートしました。

8時半にランナーがスタートエリアに出た後は更衣室のごみを収集し、スタートエリアに移動して待機しました。北橋市長の号砲一発、ランナーがスタートした後のゴミ片付けや鉄柵の移動作業を完了。 1万有余のランナーがゴール目指して気持ちよくスタート出来たものと思っています。

スタートブロックリーダー 6期:尾園義美



笑顔で対応の女性ボランティア



男性ボランテイアも気持ちよい挨拶でランナーお迎え





浅野赤坂ブロックでは、2~5期生までの計33名が国道199号沿道のコース整理を担当しました。

ハウジングパーク小倉~紫川大橋~小倉記念病院前までの長い沿道であり、あいにく集合時間は雨に降られ、止んだ後は、海・川からの寒風に悩まされました。しかし、みなさんは白い帽子、黄色ジャンバーに身をつつみ「献身的なコース整理」、「大きな声援でのおもてなし」「コーン設置・片づけ」をすることができました。

とにかく安全にボランティア活動を終えることができました。みなさん、本当にご苦労様でした。

浅野赤坂ブロックリーダー 2期:雨宮 隆



我々の仕事は、コース上のコーンの配置及び 撤去と、競技中は観客がコースへ出ないように 監視する仕事でした。

横断歩道を渡りたい歩行者からのクレームもありましたが、途切れなく延々と続くランナーの列を見て、あきらめて遠くの歩道橋へと回っていきました。

観客と一緒になって大声で選手を応援するのも仕事のうちと、「おもてなし」の心で声をはりあげました。











2班(1・7・8期)はフィニュシュブロックのゴミ清掃を担当しました。

総合展示場本館内外と新館食事コーナーの清掃、及びあさの汐風公園イベント会場のゴミ拾いと集積場への運搬です。自衛隊の豚汁コーナーでは食べた後の器と箸の回収にてんてこ舞いし、総合展示場本館内ではゴールしたランナーが脱ぎ捨てた大量のビニール合羽やペットボトルを遠い集積場まで運搬するのが大変でした。

結局朝9時から16時まで、ランナーがどこを走っているのかも分からない状況で、強い風と寒さの中くたくたになってしまい、終わった時はほっとしました。 (フィニッシュブロックリーダー 8期:勝山道生)





大勢のボランティアさんの支えや沿道のみなさんの声援のおかげで完走できました。 ありがとうございました。

フルマラソン出場、夢追塾同窓会代表ランナー 7期:森藤 明

(写真撮影 2期:内尾、6期:溝田、尾園) 写っていないスタッフの方、すみません。 他は同窓会HPギャラリーに掲載しています。